

## ホーソーンの4つの長編作品における歪な身体表象 — 共同体の規範とイデオロギーからの逸脱

アメリカ文学作家ナサニエル・ホーソーンは常に自身が作家であることに葛藤を抱えていた。本研究は彼の後期4つの長編作品における身体表象に注目し、それがホーソーンの作家としての葛藤と関連することを論証する。病、形態異常、クィア性といった社会の規範やイデオロギーから逸脱する身体にはホーソーン自身の抑圧される作家性が見え隠れするのである。

報告：山口 晋平【英文学科助教】

日時： **7/10** (月) 16:40～17:50

会場：本学講義館4階C401 ※ZOOM 配信あり

対象：テーマに興味をもたれた方は、どなたでも参加できます。

申込：参加費無料・要事前申込（7/6締切）

参加希望者は、氏名・所属・連絡先をご記入の上、  
下記QRコードまたはFAXにてお申し込みください。  
ZOOMアドレスは、直前に配信致します。



人文社会科学研究所

Email: jinsha (アットマーク) mgu.ac.jp

※アットマークは@に変更してください。

TEL/ FAX:022-277-6210